

第12章 発表

課題研究の時間には、発表の機会が多くある。毎時の振り返りとしての「1分間スピーチ」(One Minute Update)をはじめ、「ロードマップ発表会」「中間発表会」「最終発表会」「普通科課題研究発表会」とフォーマルな発表会が続く。本章では、「1分間スピーチ」と、ステージ発表・ポスター発表などのフォーマルな発表の二つについて、その心構えや留意点について述べる。

12.1 1分間スピーチ (One Minute Update)

本校の課題研究では、毎時の最後に振り返りの時間を設け、その日の活動内容と成果、失敗したこと、今後の予定などについて発表する。外国人教員には、「Now, we are having “One Minute Update”」と知らせて始めている。限られた時間でいかに伝えるか、話す内容をよく吟味することが大切である。「今日は、先週の失敗を受けて新しい実験をしました。よいデータが取れました。」などという発表もよくあるが、これでは聞き手に具体的な内容が全く伝わらない。「失敗」とはどんな失敗で、それを克服するためにどんな工夫をして「新しい実験」を行ったのか、また、「よいデータ」とは具体的にはどのようなデータなのか、簡潔に発表をする必要がある。発表に慣れてくると次第にうまくできるようになるので、班のメンバー全員が発表を経験できるよう配慮することが大切である。

ここで得た様々なアドバイスを今後の活動に活かしていく。

12.2 ステージ発表・ポスター発表

研究成果がまとまると、校内・校外で研究発表をする機会がある。発表の形態としては、多くの聞き手を前にスライドを使ってプレゼンテーションを行うステージ発表と、ポスターを使って数人の聞き手と Face to Face で発表や質疑応答を行うポスター発表に大別される。

どちらも留意点はほぼ共通であるが、ポスター発表の場合は、少人数で、しかも距離が近いので、アイコンタクトをとって聞き手の反応を確認しながら進めて行くことが大切である。指示棒を使って「こちらをご覧ください。」などと聞き手の視線を誘導し、分かりにくそうだったら、少しゆっくり話したり、同じ内容を繰り返したりしながら進めて行く。逆に、専門家が聞き手の場合は、「どこを説明しましょうか。」などと、臨機応変に対応することが大切である。くれぐれも一方的にならないように注意する必要がある。

発表原稿を作成する場合もあるが、決してこれを読み上げるような発表にしてはいけない。できれば箇条書きのメモ程度にして、臨機応変に自分の言葉で説明できるようにしておくことが望ましい。また、英語でもそうだが、「書き言葉」と「話し言葉」はずいぶんと異なることが多い。できるだけ短いフレーズにしたメモを作っておくとよい。

以下、日本語での発表も英語での発表も基本的には同じであるので、本校で作成した「中学生・高校生のための科学英語プレゼンテーションの手引き」から転載する。



【中学生・高校生のための科学英語プレゼンテーションの手引き】から

① Loud and Clear Voice

大きくはっきり、ゆっくりと。原稿を読み上げることのないように。

② Eye Contact with the Audience

ときどき、聴衆の方を向いて反応をみながら、間をとったり、話すスピードを調整したりする。

③ Expressive Gestures (Hands, Face and Body)

例えば、The results are one ~, two ~ and three ~. を言うとき、ハンドジェスチャーを行う。

緊張するかもしれないが、硬い顔にならないように。スマイルを大切に。

注目してほしいところや、重要なところを指示棒やレーザーポインターで示す。

大げさなジェスチャーを交えて話すこと。自分が大げさと感じるぐらいが、聴衆にはちょうどよい。

④ Maintain Good Posture

姿勢を良くすること。顔を上げて聴衆の方を見ること。前屈みにならないこと。

緊張するかもしれないが、貧乏揺すりや、余分な動き(机をたたいたり、ネクタイをさわったり、ペンをいじったり) (nervous mannerisms) をしないこと。リラックスして臨むこと。

咳払いをした後には、Sorry という。息を吸い込むときに、呼吸音を出さない。鼻をすすらない。

はじめから完璧なプレゼンはできない。練習を繰り返して、徐々に理想型に近づけていこう。当日は、原稿を見ないで発表をすること。ただし、メモは持っていて良い。

右の写真は岡山県理数科理数系コース課題研究合同発表会での理数科の先輩の発表の様子である。メモを見ることもなく、舞台の中程で常に客席の方を見ながらの堂々とした発表であった。

